



ガラスチューブオーブン G-300

少量試料調製用のソリューション



ガラスチューブオーブン G-300 1台の機器でワークフローを簡素化

BUCHI の少量試料向けオールインワン機器、ガラスチューブオーブン G-300をご紹介します。アクセサリーを交換して使用すると、ガラスチューブオーブン G-300は蒸留、乾燥、昇華、凍結乾燥を行うことができ、複数の大型機器を必要としません。コンパクトなサイズであるため、グローブボックス内にも設置でき、空気に敏感な試料を安全に取り扱うことができます。



オールインワンソリューション

ガラスチューブオーブン G-300には2つの構成があり、それぞれにさまざまな用途に対応する交換可能なアクセサリーが付属しています。ガラスチューブオーブン G-300 TO(Drying)は乾燥、昇華、凍結乾燥に使用でき、ガラスチューブオーブン G-300 GKR(Kugelrohr)は蒸留と回転乾燥に使用できます。

穏やかな試料処理

ガラスチューブオーブン G-300には半導体コーティングが採用されているため、均一な熱分布が確保され、加熱と冷却が促進されます。その穏やかな加熱により試料への熱的損傷が最小限に抑えられ、透明なチャンバーによりリアルタイムに試料をモニタリングできます。



無理のないコスト削減

直感的に使用できるガラスチューブオーブン G-300で効率を最大限に高めます。少量試料を大型装置で処理するのは非効率的で、エネルギーが無駄になります。コンパクトなガラスチューブオーブン G-300は、最適なパフォーマンスと使いやすさを実現するように設計されているため、あらゆるスキル・レベルに適しており、スペースの限られたラボに最適です。



角度調整ボタン:

加熱チューブの角度を調整します。

STOP ボタン:

プロセスと接続されている真空ポンプを停止します。

加熱チューブ:

半導体がコーティングされており、穏やかな加熱と迅速な加熱および冷却時間を実現します。

SET ボタン:

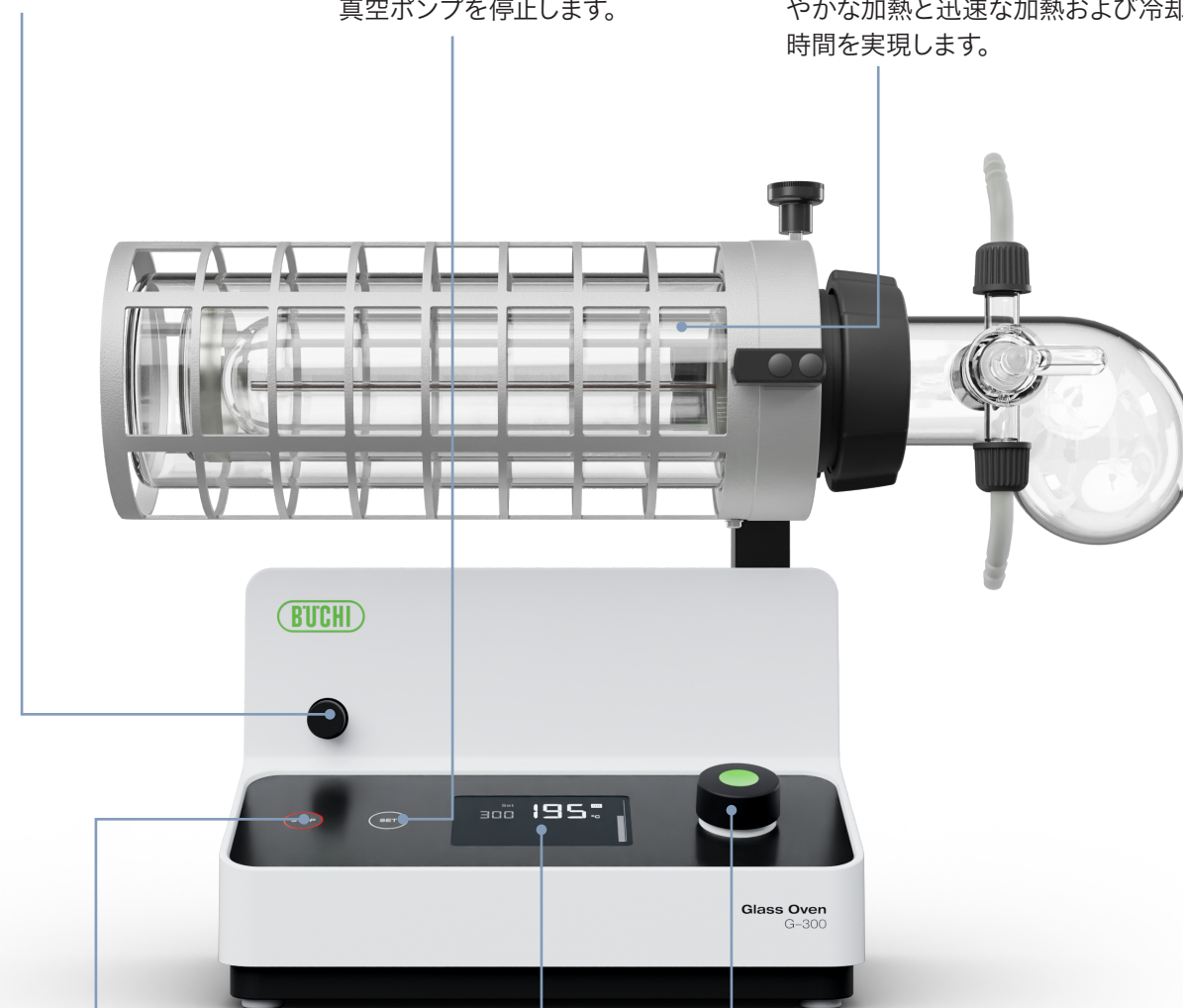
加熱温度を設定します。

インターフェース:

加熱温度と回転速度を表示します。

ナビゲーションコントロール:

加熱温度と回転速度を調整します。



1台の機器で多くの方法に対応 試料調製の合理化

それぞれのプロセスに対応したアクセサリーに交換することで、ガラスチューブオープンの機能を拡張できます。ガラスチューブオープン G-300には2つの構成があり、必要に応じてすべてのアクセサリーを別途購入できます。

ガラスチューブオープン G-300 TO(Drying)



乾燥

300℃までの温度で少量の試料を穏やかに効率的に乾燥させます。熱に敏感な試料の場合、真空下で乾燥させることで、デリケートな材料の完全性と品質を維持できます。

昇華

昇華とは、物質が液相を経由せずに固体から気体へ直接移行することです。追加の溶剤を必要とせずに、非常に純粋な生成物が得られます。この方法を実行するには、昇華用アクセサリーに交換します。

凍結乾燥

凍結乾燥は試料の完全性を保つのに最適です。このプロセスでは、溶液を凍結させ、減圧下で氷を昇華させます。この方法を実行するには、凍結乾燥用アクセサリーに交換します。

ガラスチューブオープン G-300 GKR(Kugelrohr)



蒸留

少量の液体の単蒸留と分留を行うことができます。オープンの外側の凝縮にはバルブツוברバルブ方式を採用しています。混合物の成分に合わせてバルブの数を最大4個まで増やすことができます。低沸点物質の場合は、冷却トレイに冷却剤を充填できます。

回転乾燥

一部の試料では硬い表面層が形成され、乾燥時間が大幅に長くなります。これを避けるには、回転乾燥フラスコを使用して試料を一定の回転状態に保ちます。

